

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	音声障害	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1)
対 象 学 年	2年生	学期	前期	教室名	603
担 当 教 員	前川圭子				
実務経験と その関連資格	言語聴覚士として、音声障害を専門とする耳鼻咽喉科医師が勤務する総合病院に30年勤務し、音声リハビリテーションを行ってきた。現在は年間のべ250名以上が受診する喉頭外来を担当している。これまでに、機能性音声障害、歌手の音声障害、小児の音声障害などについて、学会のシンポジウムやパネルディスカッションの演者として指名を受けた。現在、日本音声言語医学会理事・査読委員・音声言語認定士、日本喉頭科学会評議員、音声障害診療ガイドライン作成委員、日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士講習会(成人発声発語障害領域・音声障害)講師を務めている。				
《授業科目における学習内容》					
音声障害の病態に適した音声治療を実施できることを目標に授業を行う。学習到達目標 1) 発声のしくみを理解できる。2) 音声障害の原因となる疾患や病理を理解できる。3) 発声機能の検査や評価を行うことができる。4) 症例の音声障害に応じた音声治療技法を選択することができる。5) 音声治療の基本的手技を実施することができる。6) 無喉頭音声に対するリハビリテーションについて理解できる。					
《成績評価の方法と基準》					
定期テスト100%(持ち込み不可)					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
指定教科書:言語聴覚士のための音声障害学(医歯薬出版) 参考図書:日本音声言語医学会編 新編 声の検査法(医歯薬出版)					
《授業外における学習方法》					
レジュメや教科書を用いた予習復習					
《履修に当たっての留意点》					
授業では実際の症例の喉頭内視鏡所見や視聴覚教材を多用する。評価や音声治療手技の実習も行う。検査所見や国家試験過去問題について発言を求める機会も多い。積極的な授業への参加を望む。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	呼吸器官と喉頭の構造・機能を理解できる。 甲状軟骨、輪状軟骨、舌骨の触知ができる		指定教科書 レジュメ	(復習)なるべく多くの人の喉頭を触知する 声帯の動きを軟骨の動きと連動させて覚える
	各コマにおける授業予定	呼吸器官と喉頭の構造・機能についての概説			
第2回	授業を通じての到達目標	喉頭摘出後の変化について理解できる		指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	喉頭摘出後の生活や発声機能の変化についての概説			
第3回	授業を通じての到達目標	無喉頭音声について理解する		指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	無喉頭音声について概説、無喉頭音声実習			
第4回	授業を通じての到達目標	嗄声の聴覚心理的評価と、喉頭内視鏡や喉頭ストロボスコープを用いた評価方法が理解できる		指定教科書 レジュメ	(復習)DVD教材を用いて聴覚心理的評価を行ってみる
	各コマにおける授業予定	聴覚心理的評価、喉頭所見の評価方法について概説			
第5回	授業を通じての到達目標	発声機能検査、音響分析を用いた評価方法を理解できる		指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	発声機能検査、音響分析を用いた評価方法の概説			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	音声障害の原因と分類、その治療について理解する	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	音声障害の原因と分類、医学的治療と行動学的治療について概説		
第7回	授業を通じての到達目標	声帯に器質的障害を認める音声障害について理解し、評価できる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	声帯に器質的障害を認める音声障害 疾患と治療法について概説		
第8回	授業を通じての到達目標	声帯の運動障害を認める音声障害について理解し、評価できる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	声帯の運動障害を認める音声障害 疾患と治療法について概説		
第9回	授業を通じての到達目標	声帯に著変を認めない音声障害について理解し、評価できる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	声帯に著変を認めない音声障害 疾患と治療法について概説		
第10回	授業を通じての到達目標	音声治療の概念と流れについて理解できる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	音声治療概説		
第11回	授業を通じての到達目標	声門閉鎖度を変える音声治療手技を理解し実践できる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	声門閉鎖度を変える音声治療 概説と実習		
第12回	授業を通じての到達目標	声の高さを変える音声治療手技を理解し実践できる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	声の高さを変える音声治療 概説と実習		
第13回	授業を通じての到達目標	声の強さを変える音声治療手技を理解し実践できる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	声の強さを変える音声治療 概説と実習		
第14回	授業を通じての到達目標	プログラム化された音声治療について理解し実践できる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	プログラム化された音声治療 概説と実習		
第15回	授業を通じての到達目標	これまでに学んだ知識を活用して評価、訓練立案ができる	指定教科書 レジュメ	授業内容の復習
	各コマにおける授業予定	総合演習		